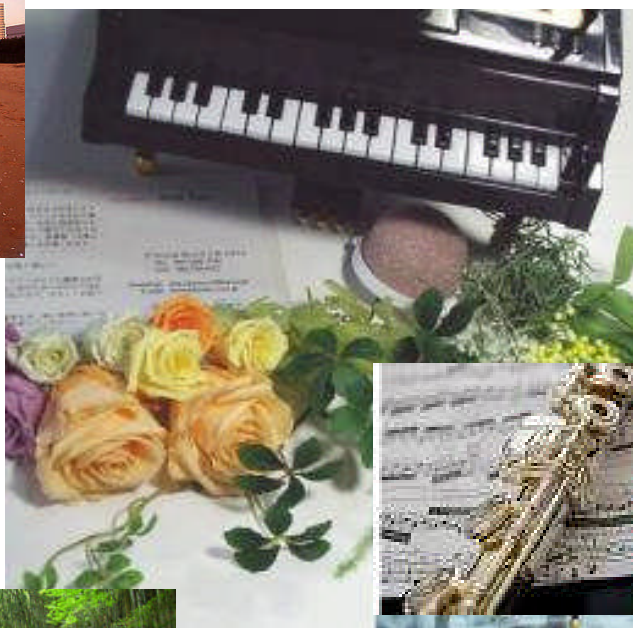


第2回さわら夏の思い出コンサート

♪♪♪「さわらの秋」イベント♪♪♪

平成21年8月21日(金) 開場18:00 開演18:30
早良市民センター4階ホール

主催 早良区役所職員音楽会実行委員会



♪ プログラム

司会：中西 久美

第1部 独奏・アンサンブルステージ

- I. ハンガリー狂詩曲第6番変二長調／リスト ピアノ：上木戸 知会子
- II. シチリアーノ／フォーレ フルート：横山 有二、ギター：馬場 康夫
- III. 北国の春／遠藤 実 尺八：土田 清孝
- IV. バラード第1番ト短調作品23／ショパン ピアノ：田村 亮祐
- V. トワイライト・イン・アッパー・ウェスト／和泉 宏隆
アルトサクソ：安永 佐知子、エレキベース：小川 智幸、ピアノ：上木戸 知会子
- VI. 過ぎさりしトレモロ／バリオス ギター：馬場 康夫
- VII. 「アルルの女」第2組曲よりメヌエット／ビゼー
フルート：井料田 充、ピアノ：田村 亮祐
- VIII. 幻想即興曲／ショパン ピアノ：宮本 重人

第2部 合奏・合唱ステージ

指揮：関 壽雄

- I. 少年時代／井上 陽水
- II. 音楽と映像でつづる早良区四季めぐり ナビゲーター：山口 智佳子
- III. 千の風になって／新井 満

(合唱団)

岩男 美紀	臼井 暁子	大齒 美穂子	澤 芳信	末永 まち子
田原 ひろ代	田村 亮祐	野見山 晴美	藤田 薫	藤原 裕美子
宮本 重人	牟田 正明	森部 昌江	安元 雅代	山 雅子
山口 智佳子	渡邊 真寿美			

♪ 曲目解説

《ハンガリー狂詩曲第6番変二長調》 ♪♪♪

リスト (1811~1886) 「ハンガリー狂詩曲」の名で親しまれている作品集は全 19 曲ありますが、1851 年~1853 年にかけて第 1 番~第 15 番までの作品が出版されました。ハンガリー出身のリストは、彼なりにハンガリーの民謡や旋律を精細に研究しました。特に当時のジプシー楽団の演奏スタイル (ヴェルブンコシュ) に影響をうけています。それは、「ラッサン」と呼ばれる緩徐な拍子感がほとんどないような部分にはじまり、「フリスカ」と呼ばれる華やかな熱狂的な躁急な部分で終わるスタイルです。リストはこのジプシー楽団の演奏スタイルをこの曲集に反映させています。

本日演奏する第 6 番は、4 つの部分で構成されています。行進曲風な序奏 (テンポ・ジュースト) にはじまり、軽快な主題の速いテンポ (プレスト) の部分、「ラッサン」(アンダンテ)、「フリスカ」(アレグロ) と続きます。

《シチリアーノ》 ♪♪♪

フランス生まれの作曲家、ガブリエル・フォーレ が作曲した組曲「ペレアスとメリザンド」からのもので、フォーレの代表作の一つです。

元はフォーレがチェロとピアノのために書いたものですが、現在ではフルートを始め、多くの楽器で演奏されています。

シチリアーノとは 17 世紀から 18 世紀に、イタリアのシチリア半島で生まれた舞曲で、6/8 拍子が特徴のゆったりしたテンポの舞曲です。

《北国の春》 ♪♪♪

この曲は 1977 年 4 月 5 日に発売され、歌手は千昌夫、作詞者はいではなく、作曲家は遠藤実。曲の解説は都会で暮らす男性が実家から届いた小包を受け取り、早春期の故郷を想う内容の歌詞で、ロングヒットを記録したシングル盤です。タイトルにもある「北国」がどこを指しているのか具体的な地名は歌詞中には登場しませんが、作詞者のいではなくが後に自身の故郷 (長野県南牧村) である信州の情景を描いたと語っています。

《バラード第 1 番ト短調作品 23》 ♪♪♪

本来、バラードは『物語』という意味です。中世イタリアでは物語性のある詩を吟遊詩人が弾き語りをするスタイルをこう呼んでいました。

バラードをピアノ作品として作ったのはショパンが初めてで、一説では、ポーランド人の友人が作った詩からインスピレーションを受けて作曲したとも言われています。

ショパンの場合、ある特定の詩から靈感を得て作曲されていることが多いのですが、詩の内容を描写しているものではありません。いわば、詩から受けた印象を創作の泉として、曲の中に反映させたものと言えるでしょう。

バラード第 1 番は 1831~35 年に作曲され、若いショパンの代表作と言えるものです。シューマンがこの曲を大いに気に入って「ショパンの全作品中、一番好きな曲だ」と言ったのは有名な話です。ショパンは生涯に 4 つバラードを書いています。どれもとてもステキな作品で、とりわけ第 1 番はピアノ曲として最高峰の曲であるとも言われており、ピアノを勉強

している人が一度は弾いてみたい作品に必ずあげます。

《トワイライト・イン・アッパー・ウェスト》 ♪♪♪

T-SQUARE (T スクエア) はデビュー 30 年目を迎えた、日本が世界に誇るポップ・インストゥルメンタル・バンドです。彼らの代表作は、F 1 のテーマ曲「TRUTH」(トゥルース) ですが、今回演奏する曲は、TRUTH と同じアルバム (1987 年) の中に収録されている切ないバラードです。ニューヨーク・アッパーウエストの夕暮れを思い浮かべながらお聞きください。それぞれのソロもお楽しみに。

《過ぎさりしトレモロ》 ♪♪♪

アグスティン・ピオ・バリオス (1885-1944) は、パラグアイのギタリスト・作曲家・詩人です。

自らの死を目前に控えた最晩年に作曲されたため、「最後のトレモロ」という通称で呼ばれていますが、原題は「神様の慈悲に免じてお恵みを」といいます。

ひとりの物乞いの老女が彼の部屋のドアを叩き、原題にもなった「神様の慈悲に免じてお恵みを」という言葉を残したといわれます。

バリオスは、この時の老女のセリフとドアをノックする音にインスパイアされ「過ぎさりしトレモロ」の作曲に至ったようです。バリオス特有の宗教心が感じられる作品です。

《「アルルの女」第2組曲よりメヌエット》 ♪♪♪

ハープの伴奏にのって、フルートがのびやかに優美な旋律をうたいあげるこの「メヌエット」は、フルートの名曲のひとつとして非常に親しまれている曲です。

「アルルの女」は、アルフォンス・ドーテの短編小説集「風車小屋だより」の戯曲を元に書かれた劇音楽で、南フランス・プロヴァンス地方の中心地アルルの近郊の農村を舞台に、農家の若者の心をとらえた狂おしいばかりの恋を描いた悲劇です。

ビゼーはこの劇中音楽として作曲を依頼され、そののちに作品 27 曲の中からビゼーが 4 曲を選び第 1 組曲として大管弦楽用に編曲しました。

そして、ビゼーの死後、親友だった作曲エルネスト・ギローが 3 曲を選び、さらに「美しきパースの娘」の劇中音楽から 1 曲を選んで、計 4 曲からなる第 2 組曲を発表しました。この「メヌエット」は「美しきパースの娘」からとられたものですが、美しい旋律のため、独立して演奏されています。

《幻想即興曲》 ♪♪♪

ピアノの詩人と呼ばれるショパンは即興曲を 4 曲残していますが、この曲はその最後の 4 曲目の曲です。個人的には、3 番が好きですが、圧倒的な通俗性をもつこの曲は、最も広く演奏され愛されている曲です。楽譜を見た人がまず驚くのは、左手は 3 連符、右手は 16 分音符と両手が同時に打鍵するのは、左が 3 音後、右が 4 音後でその間、左手と右手がバラバラに動くという、真面目に考えると絶対弾けないような曲ですが、どうにかこうにか合わせていくと、とてもきれいな微妙な錦絵のような音の流れとなります。中間部の愛らしい旋律は、昔の音楽の教科書に「ああ、美しい白きバラよ」といった歌詞で独唱曲としてもアレンジされていたことを思い出します。昔、私がピアノを習っておりました時には、この曲とメンデルスゾーンのロンド・カプリッチオーソがアマチュアピアニストの目標とする曲だと教えられておりましたが、現在はいかががでしょうか。

《少年時代》 ♪♪♪

けだるい暑い昼下がり、浴衣で見た線香花火、風呂上がりにかき氷を食べながら夕涼み、蝉取りや川遊びなどこの曲には幼い日々の思い出や青春の淡い風景を思い描くことができます。最近では某ビールのCMで流れています。さて、あなたの今年の夏の思い出は。

《千の風になって》 ♪♪♪

アメリカ発祥とされる詩、通称『Do not stand at my grave and weep』を小説家でシンガーソングライターでもある新井満が日本語で訳し、自らの作曲により生まれた曲です。原詩の作者は不明ですが、アメリカの女性メアリー・フライが、友人の母が死去した際に書いた詩がもとになっているという説が有力です。アメリカでは、同時多発テロ事件で父親を亡くした11歳の少女が、1年後の追悼式で朗読したことで話題になりました。

日本では平成18年に秋川雅史によるバージョンが発表され、同年のNHK紅白歌合戦への出場を機に一般的に知られることとなりましたが、それ以前からこの作品はいくつかのアーティストにより発表されています。

司会者プロフィール

中西 久美 (なかにし くみ)

10歳よりフルートをはじめ。

東京藝術大学附属音楽高校、及び東京藝術大学器楽科フルート専攻、卒業。

フルートを、疋田美沙子、三上明子、小泉剛、清水信貴、各氏に師事。

大学卒業後、RKB毎日放送アナウンス部に入社、アナウンサーとして活動するが、RKB毎日放送を退社後は、音楽活動と司会業を両立する。

96年、ONE UP MUSICよりALL Weather LoveのメンバーでCDリリース。全国でライブ活動を行う。

第43回全日本学生音楽コンクール東京大会第3位。

第10回宮日音楽コンクール優秀賞受賞。

現在は、ソロ、室内楽、オーケストラなど演奏活動と「今日感テレビ」(毎週月・木曜日 15:00~17:00)に出演するなど司会、ナレーションなどの活動をしている。

「早良区四季めぐり」でのビデオご提供団体

さわらビデオサークル

平成19年2月に地域づくりボランティア養成の一環として「初心者ビデオ撮影入門講座」が開催され、「早良区内の自然や歴史遺産、史跡、地域のイベント等を定期的に取り、ビデオ撮影、編集、DVD化し、魅力ある早良区を映像で紹介し、区を活性化したい」との早良区の考えに賛同した市民14名が受講、内5名が昭和19年9月に「さわらビデオサークル」を自主的に立ち上げ、今月の2月までに作品を23本制作、早良区に提出する一方、JCOMの市民チャンネルに17本の作品を投稿、放映実績が出来ました。

今年度、新会員と共に作品を4本制作、区に提出、内1本をJCOMの市民チャンネルに投稿済みであります。ビデオサークルの良さは、会員個人の作品もユニークで貴重ですが、撮影する対象をチームで撮影する時に、ビデオカメラマンの位置、角度、構図の多様性から、各自の映像を統合すると素晴らしい作品が出来ることです。

今後も会員の撮影、編集技術を向上させ、早良区の見どころ紹介のために「さわら区再発見～よかとこ、見どころ案内たい～」を合言葉に情報発信の効果的なビデオ映像で区と連携し、区の活性化に寄与したいと思っています。

ごあいさつ

本日は、ご多用の中、私どものこの音楽会にご来場いただき、誠にありがとうございました。

早良区役所では、昨年夏、区役所の職員向けに音楽会を開催いたしました。今年、音楽を聴いていただくだけでなく、広く関係者の方に早良区の魅力を知って頂こうと、四季折々の美しい早良区の映像をバックに、職員がライブで演奏する「音楽と映像でつづる早良区四季めぐり」を企画し、さらに、合同のアンサンブルや区の職員による合唱もご披露いたします。

若き頃にはプロの音楽家をめざした友、最近楽器を始めたばかりの友、また私のように、2年前まで早良区役所へ異動するまでの40年間、ピアノに鍵をかけていたものもおります。また区の多くの職員が日々の厳しい業務の中、予算や広報、企画、あるいは合奏・合唱の練習に取り組みました。特に荒瀬区長からは、行き詰まったときに何度も背中を押していただきましたし、区民の皆様方からも応援のエールをいただいております。このように、多くの方々のご連帯・ご協力により、本日を迎えることができましたこと、まさに夢のような気がいたします。

ご来場の皆様方におかれましては、百道の浜から佐賀県境へと連なる変化に富んだ美しい景観と古い歴史に満ちた早良区のすばらしさ、それを愛する私ども職員の心をお感じいただければ幸いです。

早良区役所職員音楽会実行委員会会長 宮本 重人

(スタッフ)

石川 芳浩	伊藤 真一	今満 真弓	井料田 充	亀井 俊男
澤 芳信	城後 悦子	中園 和明	永田 美弥子	原田 哲治
藤原 裕美子	松尾 美紀江	水上 英樹	水戸川 真子	宮本 重人
八木 和則	山口 智佳子	渡邊 真寿美		

■ PR用チラシ・チケット発送作業 7月14日



■ 合奏練習 7月29日



■ 合唱練習 8月12日



♪♪ 編集後記 ♪♪

【場面】とある夏の夕方、蒸し暑い一室でのプログラム編集会議。

【登場人物】「これでいまま〜す」と責任者のFさんは合唱団員ハンターとも呼ばれています。「よかくさ」と一刀両断の切れ味するどいMさん。そして、二人に押されて微妙な立場のIさんの三人。

【物語】三人は早良区役所職員文化体育運営協議会(通称「文体」)の課内文体委員に選出されて音楽会の事業担当となりました。そして、不幸にも実行委員会に組み込まれてしまいました。この音楽会は文体から協賛金と人的支援を受けていたのです。さらに悪いことは続くもので、悪徳プロデューサーI氏から「プログラム編集をお願い」の一言で悪戦苦闘をいられることとなった次第です。

